

『世界患者安全の日』を知ろう！Web講演・シンポジウム

「患者・家族とともに考える患者安全の推進と医療事故調査」

【第1部】
13:00～15:00

9/17は『世界患者安全の日』
(World Patient Safety Day)

《ビデオメッセージ》

ニーラム・ディングラ・クマール

WHO患者安全とリスクマネジメント部門 コーディネーター

座長 中京大学 教授 稲葉 一人

《講演》

「医療安全施策の動向について」

厚生労働省医政局総務課医療安全推進室 室長 諸富 伸夫

「医療事故調査制度5年の経験から考える患者安全」

日本医療安全調査機構 常務理事 木村 壮介

「群大病院の患者参加型医療へのチャレンジ」

群馬大学病院 医療の質・安全管理部 副部長 滝沢 牧子

「世界の患者安全－患者家族とともに」

国立保健医療科学院 上席主任研究官 種田 憲一郎

《ビデオメッセージ》

医療の質・安全学会 理事長

名古屋大学病院 患者安全推進部 教授 長尾 能雅

医療機能評価機構 執行理事

九州大学病院 医療安全管理部 部長 教授 後 信

日本看護協会 会長 福井 トシ子

2020年
9月19日
(土)

【第2部】
15:00～16:30



パネルディスカッション

《リレービデオメッセージ》

患者遺族 勝村 久司*川田 綾子*山口 由美

弁護士 鈴木 利廣*宮澤 潤

《ファシリテーター》

国際医療福祉大学大学院 教授 大熊 由紀子

中京大学 教授 稲葉 一人

◆講演者に加えて、患者遺族も登壇します。

医療過誤原告の会 会長 宮脇 正和

NPO法人架け橋 理事長 豊田 郁子

オンライン開催 **13:00～16:30**

参加費 2,000円 (正会員・学生 無料)

Web参加は、以下のホームページからお申込み下さい。

URL: <http://www.kakehashi-npo.com/>



『世界患者安全の日』を知ろう！Web講演・シンポジウム

—患者・家族とともに考える患者安全の推進と医療事故調査—

わが国では、1999年に報道された医療事故を契機に、『医療安全』は医療機関が最優先に取り組むべき課題とされ、2015年10月より施行の医療法に基づく医療事故調査制度に結び付けました。

また、2018年には第3回閣僚級世界患者安全サミットが日本(東京)で開かれ、2019年5月のWHO総会では、加盟国が取るべき行動指針が示され、そのなかで9月17日を世界患者安全の日(World Patient Safety Day)に制定し、関係者とともに「患者安全」を啓発する日としました。

2020年3月に改訂された「医療安全管理者の業務指針および養成のための研修プログラム作成指針」には、医療事故の対応について、医療安全管理者と医療対話推進者(患者と医療者の対話を推進する者)との連携が重視されました。

本シンポジウムでは、これまでわが国で取り組まれてきたことを振り返り、患者安全の観点から「世界患者安全の日」を広めることに努め、これからの患者安全と医療事故調査・対応について、どのような視点で、いかなる人の関わりや支援が必要なのかを考える機会とします。皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

◆日 時 2020年9月19日(土)13時00分～16時30分

* 12時30分よりZoom入室可能です。受付を開始いたします。

◆開催方法 オンライン開催「Zoomウェビナー」ライブ配信

◆参加費 2,000円(正会員・学生 無料)

* 参加申込み時の自動返信メールに記載の口座へお振込みください。

* オンライン参加の登録方法及びアクセス情報のご案内は、入金確認後、参加申込み時に登録していただくメールアドレスにお送りいたします。

※当ホームページの【オンライン参加について】を必ずご確認ください。

◆対 象 医療従事者、福祉、行政関係者、
患者・家族、市民、メディア関係者など

◆定 員 150名(定員になり次第締め切ります)

◆申込締切 9月12日(土)

◆参加申込 NPO法人架け橋ホームページより受付

U R L <http://www.kakehashi-npo.com/>

患者・家族と医療をつなぐ
NPO法人架け橋事務局

